

2020年度 地域連携活動報告書

連携先名称：沖縄県石垣市

協定締結日：2020/3/24

活動状況：継続中

連携先窓口：石垣市役所企画部 企画政策課 田盛誠治氏

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：江口文陽(地域環境科学部)

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：大林宏也(地域環境科学部)、上岡美保(国際食料情報学部)、
千葉 晋(生物産業学部)

活動目的：連携協定書による連携項目の内容に基づいた活動目的として石垣市各地域での農林水産業研修を計画し、実学教育の充実化を目的とした。

1.石垣市の地域活性化のための連携事業

石垣島に産する天然物の製品化に関する基礎研究をスタートさせることを目的として実施を開始した。

2.人材育成のための連携事業

講演会などによる地域での人材育成を目的とした事業の実施。

活動内容・成果：

1.石垣市の地域活性化のための連携事業

・体験を通じた学生と地域の交流による地域活性化による研修を計画していたが2020年度は新型コロナウイルス感染防止策として受入れが厳しく実施を見送った。

・地域に産する天然物を活用した商品開発としてゲットウやマンジェリコン、ツボクサなどのサンプルの提供を受けて予備試験が開始された。この研究の成果によって可能性が見られた際には、産官学連携による国の補助事業への申請をすることを計画して現在も研究を継続している。

2.人材育成のための連携事業

・地域で活躍する人材育成のための研修としてzoomによる講演会を2020年10月12日に実施した。

講演①「亜熱帯地域の天然物の有効活用と製品化への可能性を探る」

東京農業大学教授 江口文陽

講演②「産官学連携による地域振興の実例と展望」

理化学研究所 須藤龍彦

課題・改善点：沖縄県島嶼部は新型コロナウイルス感染症対策を医療体制の維持などから特別措置によって講じなくてはならない。したがって、学生の農林水産業従事者の元へ出向いての研修は状況を分析しながら実施の方向性へと進めることが肝心である。そのようは派遣だけではなく人材交流や地域の産業に関する研修が可能となるような方策を今後の課題として改善していきたい。